

令和7年度 沖縄県立那覇国際高等学校 学校評価（学校関係者評価）							学校関係者評価						
1 学校経営目標	①全職員での課題の共有化と協働・協力体制の確立 ②家庭や地域及び関係機関と連携した開かれた学校づくり ③確かな学力と国際的な広い視野を持った人材の育成 ④キャリア教育の視点を取り入れた進路指導の充実 ⑤学校事務の適正な管理・運営及び学習環境の整備・充実 ⑥働き方改革の推進及び職員の資質・能力の向上 ⑦各科（普通科、国際科）の特色を生かした魅力ある学校づくり						A						
2 取り組み課題	①各部・各学年・各教科間及び管理者との迅速かつ綿密な報告・連絡・相談体制の構築 ②学校の情報発信と保護者や関係機関との連携・協力による教育活動の展開 ③組織的・計画的な学力向上及び交流・体験活動への取組 ④キャリア教育の充実と主体的学習者の育成による学力向上 ⑤予算・施設・人事管理、その他学校事務に係る適切な学校運営 ⑥教職員の規範意識の高揚や資質能力の向上、並びに働き方改革の視点にたった業務改善 ⑦新学習指導要領の研究及び生徒の実態や関心に即した教育課程の編成						A: 適切である B: 概ね適切である C: やや適切である D: 不適切である						
3 評価 A(4.0～3.2) B(3.1～2.4) C(2.3～1.6) D(1.5～1.0)							評価	意見等					
項目	具体的目標	取組方策	自己評価・外部評価						改善案				
			教職員	生徒	保護者	総合							
学校経営	魅力ある学校づくり	1 学校教育目標の具現化に向けて、各チームの連携を密にし、円滑な校務運営に努める。	3.4	A	3.5	A	3.4	A	A	スタッフ会議や運営委員会を通して連携を図り、各部署との報告・連絡・相談を適切に行いながら、校務運営にあたる。	A	○項目「学校経営」については、取組方策全体において自己評価・外部評価は良好であり、「適切である」と評価できる。取組方策4「国際性・協調性の育成」は、生徒評価で、改善(前年B→A)されており、評価できる。取組方策3「問題解決を図る生徒の育成」は、自己評価(教職員・生徒)が2年連続(B)となっており気になることである。○各種交流事業の充実により、普通科も含めた全校的取組が更に進んでいる印象がある。長期の留学生の受け入れなど、異文化交流の活動活発化が継続されており、学校の特色として地域的にも浸透が広がっていると思われる。SGHのレガシーを引き続き活かしていくためにも、総探活動と連動に期待したい。○学校全体として情報共有や組織的な連携がしっかり図られている印象を受けた。教職員間の連携体制が整っていることは、生徒への指導や学校運営の安定にもつながる重要な要素であると感じている。卒業生の立場から見ても、母校が組織として円滑に機能していることは大変心強い。今後も各部署や学年の連携を大切にしながら、学校全体で教育活動を支える体制を継続していただきたい。○学校HPやオープンスクールで学校の広報活動が活発であることは認識できている方が多いので、来年度以降もぜひ頑張ってもらいたい。○「3」の総合的な探求は発表を見させてもらいたい。その探求の時間だと思えます。せっかく考える時間が与えられているのだから有効活用して、問いを立てる楽しみを経験できる時間になることを期待しています。	
		2 教育課程の円滑な実施・研究改善に努める。	3.4	A	3.2	A	3.3	A	A	本校教育目標の実現のため、望ましい校時程および教育課程について継続的に研究を進め教育活動の質の向上に努める。			
		3 「SGHネットワーク研究校」として、総合的な探究の時間を通し、他者と協働して課題解決を図る生徒を育成する。	3.1	B	3	B	3.3	A	B	探究の質向上に向けて校内体制を見直すとともに、地域や外部機関との連携を視野に入れた探究の在り方を研究する。			
		4 異文化理解を深める学習活動を通して、「国際性・協調性」の育成に努める。	3.5	A	3.2	A	3.4	A	A	引き続き、普通科を含む学校全体で取組の拡充を図り、国際理解や異文化交流に係る体制の強化に努める。			
	保護者・地域との連携	5 学校HPの活用、校舎壁・フェンスに懸垂幕・横断幕の掲示等により情報発信に努める。	3.6	A	3.4	A	3.7	A	A	引き続き、オープンスクールや学校説明会、学校HP・スクリーン・横断幕等を活用し、本校の活動の情報発信に努める。			
		6 三者面談等を実施し、保護者との連絡を密に行う。	3.7	A	3.4	A	3.3	A	A	引き続き、三者面談や学級PTA等を実施するとともに、スクリーンを活用し、保護者との円滑な連携に努める。			
授業・学習	授業改善(学力向上)	7 年間指導計画や評価方法について共有する。	3.6	A	3.4	A	3.3	A	A	校内研修や授業観察を通して、1人1台端末の積極的かつ効果的な活用を推進するとともに、スタディーサプリ等の学習支援ソフトの適切な活用を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むことで、対話的・協働的な学習環境の充実を図り、主体的学習者の育成に努める。	A	○項目「授業・学習」については、取組方策全体(6)において自己評価・外部評価は良好であり、「適切である」と評価できる。取組方策8「わかる授業の実践」は、外部評価(保護者)が、昨年度A→Bとなっており気になる。○端末の活用が定着し、教育ツールとして期待される成果が上がってきているという印象を受けました。授業改善への教職員の努力が、保護者からの評価にもう少し反映されていればと思います。○教育目標の実現に向けて教育課程の見直しや授業改善に継続的に取り組んでいることは評価できる。社会が大きく変化している中で、生徒が主体的に考え行動する力を育む教育の重要性はますます高まっていると感じる。母校で学ぶ後輩たちが、将来さまざまな分野で活躍できるよう、今後も時代の変化に対応した授業づくりや学習環境の充実に取り組んでいただきたい。ICTを活用した授業や学習環境の整備が進められていることは、現代の教育環境として重要な取り組みであると感じる。ICTは単なる機器の活用にとどまらず、生徒の主体的な学びや情報活用能力を育てる上でも大きな役割を持つと考える。今後も教職員間での活用方法の共有を進めながら、効果的な学習環境の充実につながることを期待している。○「8」に関して満足していない保護者が多いため、授業についていけない生徒へのサポート体制に不満があるのだろうと推測します。質問しやすい環境づくりを期待します。	
		8 不断の授業改善により、わかる授業を実践する。	3.7	A	3.3	A	3.1	B	A	引き続き、委員会活動等の取組を通じて、生徒の主体的な活動の促進とその支援に努め、学校生活における自律的な力の育成を図る。			
		9 主体的に学習に向かう態度を育成する。	3.2	A	3.3	A	3.2	A	A	引き続き、校内研修の充実とICT支援員の支援を活用し、生徒及び教職員の情報活用能力の一層の向上に努める。			
		10 「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を通して、「向学心や探究心」を育てる。	3.6	A	3.5	A	3.2	A	A	引き続き、図書資料の利用促進に努めるとともに、委員会活動のさらなる活性化に取り組む。			
	ICTの活用	11 タブレット端末、スマートフォンなどICT機器を活用し情報活用能力を育成する。	3.7	A	3.5	A	3.5	A	A	引き続き、図書資料の収集・整理・提供に努めるとともに、生徒及び職員の図書館利用を促進する。			
図書館利用の充実	12 図書資料の収集・整理・提供に努めるとともに、生徒及び職員の図書館利用を促進する。	3.7	A	3.6	A	3.2	A	A					
特別活動	学校行事等の充実 部活動の充実	13 生徒会活動・HR活動の充実を図り、自主的・実践的な活動を企画・運営できる力を育成する。	3.7	A	3.5	A	3.4	A	A	引き続き、委員会活動等の取組を通じて、生徒の主体的な活動の促進とその支援に努め、学校生活における自律的な力の育成を図る。	A	○「適切である」と評価できる。○この数年の部活動の成果の躍進には目を見張るものがあると感じています。文武両道のイメージを外に出せるのは新たな学校の魅力になるでしょう。○生徒会活動や委員会活動などを通じて、生徒が主体的に学校生活に関わる機会が設けられていることは非常に良い取り組みだと感じる。自分たちで学校をより良くしていくという経験は、生徒にとって大きな成長の機会になる。卒業生としても、後輩たちが主体性や責任感を育みながら充実した学校生活を送ってほしいと願っている。基本的な生活習慣の指導や人権教育への取り組みは、生徒が安心して学校生活を送るうえで欠かせないものと感じる。近年はSNSなどによるトラブルも増えているため、生徒一人ひとりが他者を尊重しながら行動できるような指導の重要性はますます高まっている。今後も生徒の心の成長を支える教育を継続していただきたい。	
		14 右文尚武(学業を尊び、部活動にも励む)を身に付けた逞しく生きる主体的な人間を育成する。	3.4	A	3.4	A	3.3	A	A	引き続き、研修や講演会等を通して人権意識の高揚を図るとともに、SNSトラブルやいじめ等の早期発見と解決に努める。			
生徒指導	基本的な生活習慣の確立 安全教育の充実	15 凡事徹底(時間厳守、あいさつ、返事、身なり、整理整頓等)が実践できる力を育成する。	3.2	A	3.4	A	3.3	A	A	全職員の共通理解のもと、基本的な生活習慣の定着と規範意識を育て、自己管理能力の向上を図る。			
		16 自他の生命を尊び、安全で安心な社会づくりに貢献できる力を育成する。	3.4	A	3.4	A	3.3	A	A				
人権教育	人権尊重教育の推進 人権教育の充実	17 人権ガイドブックの活用、実践的な服務研修の充実を図る。	3.5	A	3.4	A	3.4	A	A	引き続き、研修や講演会等を通して人権意識の高揚を図るとともに、SNSトラブルやいじめ等の早期発見と解決に努める。			
		18 いじめや体罰等の早期発見と解決に努める。	3.5	A	3.4	A	3.2	A	A				
進路指導	進路意識の向上	19 目的意識を持って主体的に自己の進路を選択・決定できる力を育成する。	3.3	A	3.4	A	3.2	A	A	飛躍手帳やナビジョンの積極的な活用を推奨し、模試を希望進路実現に向けたマイルストーンとして位置付け、授業と自学を組み合わせた学習の充実を図る。さらに、第1志望届の作成を通して進路希望の早期決定を促し、自立した学習者の育成に努める。また、学年集会や進路集會、各種講演会等を通して、進路意識の高揚を図る。	A	○「適切である」と評価できる。○進路指導へ教職員の真摯な取り組みが生徒側に伝わっていると思われる。外部講師を招いての各種講演も、「学校だより」を通じ、充実できているように感じています。○生徒一人ひとりの進路希望に応じた進路指導が計画的に行われていることは大変重要であると感じる。進学や就職など多様な進路選択がある中で、生徒が自分の将来を主体的に考える機会を提供している点は評価できる。卒業生としても、後輩たちが自分の可能性を広げながら将来の目標に向かって努力していけるよう、今後も丁寧な支援を期待している。スクールカウンセラーとの連携など、生徒の心身のケアを含めた支援体制が整えられていることは安心できる取り組みであると感じる。生徒が安心して学び、成長できる環境を整えることは学校の重要な役割の一つである。今後も生徒の声に耳を傾けながら、よりよい学習環境と支援体制の充実に向けて努めていただきたい。	
		20 将来の職業を見据え、主体的にキャリアプランを考える力を育成する。	3.7	A	3.5	A	3.4	A	A				
	21 進路相談の充実と環境整備を図る。	3.6	A	3.5	A	3.4	A	A					
健康・安全管理	健康教育の充実 教育相談の充実 教育環境の整備・安全管理	22 健康の保持増進と自他の生命を尊重する健康教育を行う。	3.7	A	3.4	A	3.3	A	A	全教職員がカウンセリングマインドを持って生徒理解とケアに努めるとともに、SCや医療機関等の専門機関と連携を図り、適切な支援につなげる。また、毎日の清掃活動を通して校内美化に取り組むとともに、学習環境の整備に努め、公共心の育成を図る。			
		23 保健室やスクールカウンセラーと連携し、教育相談の充実を図る。	3.7	A	3.4	A	3.2	A	A				
		24 校内美化、教育環境の整備・安全管理の充実を図る。	3.4	A	3.5	A	3.3	A	A				
働き方改革		25 同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができている。	3.4	A					A		B	○項目「働き方改革」については、取組方策(5つのうち3つ)が、自己評価(教職員)がBとなっており、さらなる取組が必要。取組方策25は、全29のうち唯一(2.7)となっており気になる。教職員の働き方改革は、全国的喫緊の課題。県では令和5年度に「働き方改革推進課」が新設され全庁体制で取組を推進している。さらなる取組方策の強化を期待したい。○今回の評価結果は、現場に時間的余裕がないという現実が如実に表れたものと受け止めております。教職員が専門性を探求する時間を十分に確保できれば、それは必ず学ぶ側にもプラスの影響をもたらすはず。文字通り身を削ることで教育現場が成り立っている現状は、社会全体で解決すべき重要な課題であると強く感じています。○教職員の働き方改革や業務改善への取り組みは徐々に進められていると感じるが、教育活動の質を維持・向上させるためにも、教職員の負担軽減は引き続き重要な課題であると考えられる。ICTの活用や業務の効率化などを通じて、教職員が生徒と向き合う時間をより確保できる環境づくりが進むことを期待したい。○先生方の通常業務以外の時間を減らすためにも、部活動に関わる業務は保護者会を立ち上げ、先生方の負担を少しでも減らす努力が必要なのではないかと思えます。	
		26 個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができている。	2.7	B						B			・働き方改革の視点を踏まえ、部活動も含めた教育活動の在り方を検討し、業務の適正化と改善を進める。 ・校務のICT化を推進し、業務負担軽減のための環境整備を進める。
		27 一人一人の生徒との信頼関係を深めることができている。	3.3	A						A			・時間外在校等時間の状況把握を継続し、必要に応じて産業医面談等を実施するなど、職員のメンタルヘルスケアの充実にも努め、働きやすい職場づくりを推進する。
		28 より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。	3	B						B			
		29 心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができている。	3.1	B						B			

令和7年度 学校評価(全体集計)

選択肢 ④よくあてはまる ③ややあてはまる ②あまりあてはまらない ①まったくあてはまらない

評価 A(4.0~3.2) B(3.1~2.4) C(2.3~1.6) D(1.5~1.0)

回答者数 1200

項目	具体的目標	取組方策	教職員 (71)		生徒 (761)		保護者 (368)		総合 評価
学校経営	魅力ある学校づくり	1 学校教育目標の具現化に向けて、各チームの連携を密にし、円滑な校務運営に努める。	3.4	A	3.5	A	3.4	A	A
		2 教育課程の円滑な実施・研究改善に努める。	3.4	A	3.2	A	3.3	A	A
		3 「SGHネットワーク研究校」として、総合的な探究の時間を通し、他者と協働して課題解決を図る生徒を育成する。	3.1	B	3.0	B	3.3	A	B
		4 異文化理解を深める学習活動を通して、「国際性・協調性」の育成に努める。	3.5	A	3.2	A	3.4	A	A
	保護者・地域との連携	5 学校HPの活用、校舎壁・フェンスに懸垂幕・横断幕の掲示等により情報発信に努める。	3.6	A	3.4	A	3.7	A	A
		6 三者面談等を実施し、保護者との連絡を密に行う。	3.7	A	3.4	A	3.3	A	A
授業・学習	授業改善(学力向上)	7 年間指導計画や評価方法について共有する。	3.6	A	3.4	A	3.3	A	A
		8 不断の授業改善により、わかる授業を実践する。	3.7	A	3.3	A	3.1	B	A
		9 主体的に学習に向かう態度を育成する。	3.2	A	3.3	A	3.2	A	A
		10 「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を通して、「向学心や探究心」を育てる。	3.6	A	3.5	A	3.2	A	A
	ICTの活用	11 タブレット端末、スマートフォンなどICT機器を活用し情報活用能力を育成する。	3.7	A	3.5	A	3.5	A	A
		12 図書資料の収集・整理・提供に努めるとともに、生徒及び職員の図書館利用を促進する。	3.7	A	3.6	A	3.2	A	A
特別活動	学校行事等の充実	13 生徒会活動・HR活動の充実を図り、自主的・実践的な活動を企画・運営できる力を育成する。	3.7	A	3.5	A	3.4	A	A
	部活動の充実	14 右文尚武(学業を尊び、部活動にも励む)を身に付けた逞しく生きる主体的な人間を育成する。	3.4	A	3.4	A	3.3	A	A
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	15 凡事徹底(時間厳守、あいさつ、返事、身なり、整理整頓等)が実践できる力を育成する。	3.2	A	3.4	A	3.3	A	A
	安全教育の充実	16 自他の生命を尊び、安全で安心な社会づくりに貢献できる力を育成する。	3.4	A	3.4	A	3.3	A	A
人権教育	人権尊重教育の推進	17 人権ガイドブックの活用、実践的な服務研修の充実を図る。	3.5	A	3.4	A	3.4	A	A
	人権教育の充実	18 いじめや体罰等の早期発見と解決に努める。	3.5	A	3.4	A	3.2	A	A
進路指導	進路意識の向上	19 目的意識を持って主体的に自己の進路を選択・決定できる力を育成する。	3.3	A	3.4	A	3.2	A	A
		20 将来の職業を見据え、主体的にキャリアプランを考える力を育成する。	3.7	A	3.5	A	3.4	A	A
	進路相談の充実	21 進路相談の充実と環境整備を図る。	3.6	A	3.5	A	3.4	A	A
健康・安全管理	健康教育の充実	22 健康の保持増進と自他の生命を尊重する健康教育を行う。	3.7	A	3.4	A	3.3	A	A
	教育相談の充実	23 保健室やスクールカウンセラーと連携し、教育相談の充実を図る。	3.7	A	3.4	A	3.2	A	A
	教育環境の整備・安全管理	24 校内美化、教育環境の整備・安全管理の充実を図る。	3.4	A	3.5	A	3.3	A	A
働き方改革		25 同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができています。	3.4	A					A
		26 個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができています。	2.7	B					B
		27 一人一人の生徒との信頼関係を深めることができています。	3.3	A					A
		28 より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。	3.0	B					B
		29 心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています。	3.1	B					B

令和7年度 学校評価集計【教職員】

選択肢 ④よくあてはまる ③ややあてはまる ②あまりあてはまらない ①まったくあてはまらない

評価 A(4.0~3.2) B(3.1~2.4) C(2.3~1.6) D(1.5~1.0)

回答者数 71

項目	具体的目標	取組方針	教職員用 質問	平均	評価	④		③		②		①		③+④の人数	③+④の率	
						よくあてはまる人数	率	ややあてはまる人数	率	あまりあてはまらない人数	率	まったくあてはまらない人数	率			
学校経営	魅力ある学校づくり	1	学校教育目標の具現化に向けて、各チームの連携を密にし、円滑な校務運営に努める。	私たちは、各チームの連携を密に働きやすい職場づくり、円滑な校務運営に努めている。	3.4	A	29	40.8%	40	56.3%	2	2.8%	0	0.0%	69	97.2%
		2	教育課程の円滑な実施・研究改善に努める。	学校の教育課程(類型制・選択科目制)は、生徒の興味関心、進路に応じて適切に編成されている。	3.4	A	31	43.7%	39	54.9%	0	0.0%	1	1.4%	70	98.6%
		3	「SGHネットワーク研究校」として、総合的な探究の時間を通して、他者と協働して課題解決を図る生徒を育成する。	私たちは、総合的な探究の時間等を通して、生徒の課題発見能力や協働しながら課題解決する力を育成している。	3.1	B	20	28.2%	41	57.7%	9	12.7%	1	1.4%	61	85.9%
		4	異文化理解を深める学習活動を通して、「国際性・協調性」の育成に努める。	私たちは、異文化理解を深める学習活動を通して、生徒の「国際性・協調性」を育成している。	3.5	A	44	62.0%	23	32.4%	3	4.2%	1	1.4%	67	94.4%
	保護者・地域との連携	5	学校HPの活用、校舎壁・フェンスに懸垂幕・横断幕の掲示等により情報発信に努める。	私たちは、学校だより・学校HP・進路情報等により、生徒の様子を広く家庭や地域に発信している。	3.6	A	46	64.8%	25	35.2%	0	0.0%	0	0.0%	71	100.0%
		6	三者面談等を実施し、保護者との連絡を密に行う。	私たちは、三者面談等を通して保護者と連携して、生徒の学校生活や進路について一緒に考えている。	3.7	A	49	69.0%	22	31.0%	0	0.0%	0	0.0%	71	100.0%
授業・学習	授業改善(学力向上)	7	年間指導計画や評価方法について共有する。	私たちは、各教科の年間指導計画や成績評価の方法について、生徒に説明している。	3.6	A	44	62.0%	26	36.6%	1	1.4%	0	0.0%	70	98.6%
		8	不断の授業改善により、わかる授業を実践する。	私たちは、授業内容をわかりやすく工夫し、生徒の学習に関する質問や相談に丁寧に応えている。	3.7	A	52	73.2%	18	25.4%	1	1.4%	0	0.0%	70	98.6%
		9	主体的に学習に向かう態度を育成する。	私たちは、朝の時間(飛躍タイム)を活用し、生徒の自学自習の力を育成している。	3.2	A	25	35.2%	37	52.1%	7	9.9%	2	2.8%	62	87.3%
		10	「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を通して、「向学心や探究心」を育てる。	私たちは、グループ活動やペア活動等の授業改善を通して、生徒の向学心や探究心を育成している。	3.6	A	42	59.2%	28	39.4%	1	1.4%	0	0.0%	70	98.6%
	ICTの活用	11	タブレット端末、スマートフォンなどICT機器を活用し情報活用能力を育成する。	私たちは、タブレット端末等を活用した授業実践で、生徒の情報活用能力を育成している。	3.7	A	49	69.0%	21	29.6%	1	1.4%	0	0.0%	70	98.6%
		12	図書資料の収集・整理・提供に努めるとともに、生徒及び職員の図書館利用を促進する。	学校図書館は、読書・学習活動等でよく利用できる体制が整っている。	3.7	A	51	71.8%	18	25.4%	2	2.8%	0	0.0%	69	97.2%
特別活動	学校行事等の充実	13	生徒会活動・HR活動の充実を図り、自主的・実践的な活動を企画・運営できる力を育成する。	私たちは、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、生徒の自主的な企画力や運営力を育成している。	3.7	A	49	69.0%	20	28.2%	2	2.8%	0	0.0%	69	97.2%
		14	右文尚武(学業を尊び、部活動にも励む)を身に付けた逞しく生きる主体的な人間を育成する。	私たちは、部活動(特別活動)を奨励し、生徒の学校生活の充実感を高める体制を整えている。	3.4	A	36	50.7%	28	39.4%	6	8.5%	1	1.4%	64	90.1%
生徒指導	基本的生活習慣の確立	15	凡事徹底(時間厳守、あいさつ、返事、身なり、整理整頓等)が実践できる力を育成する。	私たちは、凡事徹底(時間厳守、あいさつ、身なり、整理整頓等)を通して、生徒の自己管理能力を高めている。	3.2	A	26	36.6%	33	46.5%	11	15.5%	1	1.4%	59	83.1%
		16	自他の生命を尊び、安全で安心な社会づくりに貢献できる力を育成する。	私たちは、日常生活や交通面、災害時の安全について、生徒の安全指導に努めている。	3.4	A	29	40.8%	41	57.7%	1	1.4%	0	0.0%	70	98.6%
人権教育	人権尊重教育の推進	17	人権ガイドブックの活用、実践的な服務研修の充実を図る。	私たちは、人権意識の高揚を図るため、職員研修を行っている。	3.5	A	38	53.5%	31	43.7%	2	2.8%	0	0.0%	69	97.2%
		18	いじめや体罰等の早期発見と解決に努める。	私たちは、いじめや体罰等の人権問題の早期発見と対応体制ができています。	3.5	A	35	49.3%	34	47.9%	2	2.8%	0	0.0%	69	97.2%
進路指導	進路意識の向上	19	目的意識を持って主体的に自己の進路を選択・決定できる力を育成する。	私たちは、飛躍手帳・マナビジョン等を活用を推進し、生徒の自己管理能力を育成している。	3.3	A	28	39.4%	38	53.5%	5	7.0%	0	0.0%	66	93.0%
		20	将来の職業を見据え、主体的にキャリアプランを考える力を育成する。	私たちは、各種講座・対外模試等を効果的に設置し、生徒の進路意識の向上に努めている。	3.7	A	50	70.4%	21	29.6%	0	0.0%	0	0.0%	71	100.0%
	21	進路相談の充実と環境整備を図る。	私たちは、進路室の資料充実や学習支援ソフト(スタディサプリ)等の活用で、生徒に合った学びを提供している。	3.6	A	41	57.7%	29	40.8%	1	1.4%	0	0.0%	70	98.6%	
健康・安全管理	健康教育の充実	22	健康の保持増進と自他の生命を尊重する健康教育を行う。	私たちは、生徒の健康面・安全面の管理・対応をしっかりと行っている。	3.7	A	48	67.6%	23	32.4%	0	0.0%	0	0.0%	71	100.0%
		23	教職員や外部機関により、教育相談の充実を図る。	私たちは、教育相談室やスクールカウンセラー等、生徒や保護者が相談しやすい体制を整えている。	3.7	A	51	71.8%	20	28.2%	0	0.0%	0	0.0%	71	100.0%
		24	校内美化、教育環境の整備・安全管理の充実を図る。	私たちは、清掃活動、学習環境の整備・安全管理の充実を通して、生徒の公共心を育成している。	3.4	A	33	46.5%	34	47.9%	4	5.6%	0	0.0%	67	94.4%
働き方改革	25	同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができています。		3.4	A	31	43.7%	36	50.7%	2	2.8%	2	2.8%	67	94.4%	
	26	個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができています。		2.7	B	11	15.5%	29	40.8%	27	38.0%	4	5.6%	40	56.3%	
	27	一人一人の生徒との信頼関係を深めることができています。		3.3	A	25	35.2%	43	60.6%	3	4.2%	0	0.0%	68	95.8%	
	28	より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。		3.0	B	17	23.9%	42	59.2%	10	14.1%	2	2.8%	59	83.1%	
	29	心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています。		3.1	B	20	28.2%	40	56.3%	9	12.7%	2	2.8%	60	84.5%	

令和7年度 学校評価集計【生徒】

選択肢 ④よくあてはまる ③ややあてはまる ②あまりあてはまらない ①まったくあてはまらない

評価 A(4.0~3.2) B(3.1~2.4) C(2.3~1.6) D(1.5~1.0)

回答者数 761

項目	具体的目標	取組方策	生徒用質問	平均	評価	④		③		②		①		③+④の人数	③+④の率	
						よくあてはまる人数	率	ややあてはまる人数	率	あまりあてはまらない人数	率	まったくあてはまらない人数	率			
学校経営	魅力ある学校づくり	1	学校教育目標の具現化に向けて、各チームの連携を密にし、円滑な校務運営に努める。	学校生活は充実しており、那覇国際高校に入学して良かった。	3.5	A	430	56.5%	278	36.5%	37	4.9%	16	2.1%	708	93.0%
		2	教育課程の円滑な実施・研究改善に努める。	学校の教育課程(類型制・選択科目制)は、私たちの興味関心、進路に応じて適切に編成されている。	3.2	A	261	34.3%	388	51.0%	99	13.0%	13	1.7%	649	85.3%
		3	「SGHネットワーク研究校」として、総合的な探究の時間を通し、他者と協働して課題解決を図る生徒を育成する。	学校は、総合的な探究の時間を通して、私たちの課題発見能力や協働しながら課題解決する力を育成している。	3.0	B	214	28.1%	393	51.6%	126	16.6%	28	3.7%	607	79.8%
		4	異文化理解を深める学習活動を通して、「国際性・協調性」の育成に努める。	学校は、異文化理解を深める学習活動を通して、私たちの「国際性・協調性」を育成している。	3.2	A	290	38.1%	349	45.9%	98	12.9%	24	3.2%	639	84.0%
	保護者・地域との連携	5	学校HPの活用、校舎壁・フェンスに懸垂幕・横断幕の掲示等により情報発信に努める。	学校は、学校だより・学校HP・進路情報等により、私たちの様子を広く家庭や地域に発信している。	3.4	A	363	47.7%	350	46.0%	42	5.5%	6	0.8%	713	93.7%
		6	三者面談等を実施し、保護者との連絡を密に行う。	学校は、三者面談等を通して保護者と連携して、私の学校生活や進路について一緒に考えてくれている。	3.4	A	372	48.9%	337	44.3%	45	5.9%	7	0.9%	709	93.2%
授業・学習	授業改善(学力向上)	7	年間指導計画や評価方法について共有する。	学校は、各教科の年間指導計画や成績評価の方法について、私たちに説明している。	3.4	A	396	52.0%	307	40.3%	51	6.7%	7	0.9%	703	92.4%
		8	不断の授業改善により、わかる授業を実践する。	学校は、授業内容をわかりやすく工夫し、私たちの学習に関する質問や相談に丁寧に応えている。	3.3	A	334	43.9%	348	45.7%	69	9.1%	10	1.3%	682	89.6%
		9	主体的に学習に向かう態度を育成する。	学校は、朝の時間(飛躍タイム)を活用し、私たちの自学自習の力を育成している。	3.3	A	326	42.8%	337	44.3%	76	10.0%	22	2.9%	663	87.1%
		10	「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を通して、「向学心や探究心」を育てる。	私たちは、グループ活動やペア活動の授業に、主体的に参加している。	3.5	A	454	59.7%	276	36.3%	22	2.9%	9	1.2%	730	95.9%
	ICTの活用	11	タブレット端末、スマートフォンなどICT機器を活用し情報活用能力を育成する。	学校は、タブレット端末等を活用した授業で、私たちの情報活用能力を育成している。	3.5	A	464	61.0%	240	31.5%	48	6.3%	9	1.2%	704	92.5%
	図書館利用の充実	12	図書資料の収集・整理・提供に努めるとともに、生徒及び職員の図書館利用を促進する。	学校図書館は、読書・学習活動等でよく利用できる体制が整っている。	3.6	A	475	62.4%	259	34.0%	24	3.2%	3	0.4%	734	96.5%
特別活動	学校行事等の充実	13	生徒会活動・HR活動の充実を図り、自主的・実践的な活動を企画・運営できる力を育成する。	学校は、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、私たちの自主的な企画力や運営力を育成している。	3.5	A	456	59.9%	257	33.8%	33	4.3%	15	2.0%	713	93.7%
	部活動の充実	14	右文尚武(学業を尊び、部活動にも励む)を身に付けた逞しく生きる主体的な人間を育成する。	学校は、部活動(特別活動)を奨励し、私たちの学校生活の充実感を高めている。	3.4	A	395	51.9%	296	38.9%	56	7.4%	14	1.8%	691	90.8%
生徒指導	基本的生活習慣の確立	15	凡事徹底(時間厳守、あいさつ、返事、身なり、整理整頓等)が実践できる力を育成する。	学校は、凡事徹底(時間厳守、あいさつ、身なり、整理整頓等)を通して、私たちの自己管理能力を高めている。	3.4	A	374	49.1%	326	42.8%	45	5.9%	16	2.1%	700	92.0%
	安全教育の充実	16	自他の生命を尊び、安全で安心な社会づくりに貢献できる力を育成する。	学校は、日常生活や交通面、災害時の安全について、私たちの安全指導に取り組んでいる。	3.4	A	354	46.5%	334	43.9%	61	8.0%	12	1.6%	688	90.4%
人権教育	人権尊重教育の推進	17	人権ガイドブックの活用、実践的な服務研修の充実を図る。	学校は、講演会やHRを通して、私たちの人権意識の高揚を図っている。	3.4	A	376	49.4%	317	41.7%	56	7.4%	12	1.6%	693	91.1%
	人権教育の充実	18	いじめや体罰等の早期発見と解決に努める。	学校は、いじめや体罰等の人権問題の早期発見と対応体制ができています。	3.4	A	361	47.4%	343	45.1%	41	5.4%	16	2.1%	704	92.5%
進路指導	進路意識の向上	19	目的意識を持って主体的に自己の進路を選択・決定できる力を育成する。	学校は、飛躍手帳・ナビジョン等を活用を推進し、私たちの自己管理能力を育成している。	3.4	A	395	51.9%	298	39.2%	58	7.6%	10	1.3%	693	91.1%
		20	将来の職業を見据え、主体的にキャリアプランを考える力を育成する。	学校は、各種講座・対外模試等を効果的に設置し、私たちの進路意識の向上に効果を上げている。	3.5	A	468	61.5%	255	33.5%	24	3.2%	14	1.8%	723	95.0%
	進路相談の充実	21	進路相談の充実と環境整備を図る。	学校は、進路室の資料充実や学習支援ソフト(スタディサプリ)等の活用で、私たちに合った学びを提供している。	3.5	A	413	54.3%	296	38.9%	46	6.0%	6	0.8%	709	93.2%
健康・安全管理	健康教育の充実	22	健康の保持増進と自他の生命を尊重する健康教育を行う。	学校は、私たちの健康面・安全面の管理・対応をしっかり行っている。	3.4	A	400	52.6%	304	39.9%	42	5.5%	15	2.0%	704	92.5%
	教育相談の充実	23	教職員や外部機関により、教育相談の充実を図る。	学校は、教育相談室やスクールカウンセラー等、生徒や保護者が相談しやすい体制を整えている。	3.4	A	393	51.6%	312	41.0%	46	6.0%	10	1.3%	705	92.6%
	教育環境の整備・安全管理	24	校内美化、教育環境の整備・安全管理の充実を図る。	学校は、学習環境が整備され、私たちは清掃活動によく取り組んでいる。	3.5	A	437	57.4%	286	37.6%	29	3.8%	9	1.2%	723	95.0%

令和7年度 学校評価集計【保護者】

選択肢 ④よくあてはまる ③ややあてはまる ②あまりあてはまらない ①まったくあてはまらない

評価 A(4.0~3.2) B(3.1~2.4) C(2.3~1.6) D(1.5~1.0)

回答者数 368

項目	具体的目標	取組方策	保護者用 質問	平均	評価	④よくあてはまる(人数)		③ややあてはまる(人数)		②あまりあてはまらない(人数)		①まったくあてはまらない(人数)		③+④の人数	③+④の率
						率	率	率	率						
学校経営	魅力ある学校づくり	1 学校教育目標の具現化に向けて、各チームの連携を密にし、円滑な校務運営に努める。	学校は、教育目標・方針を分かりやすく保護者に伝え、子どもは充実した学校生活を送っている。	3.4	A	163	44.3%	186	50.5%	16	4.3%	3	0.8%	349	94.8%
		2 教育課程の円滑な実施・研究改善に努める。	学校の教育課程(類型制・選択科目制)は、子どもの興味関心、進路に応じて適切に編成されている。	3.3	A	137	37.2%	214	58.2%	15	4.1%	2	0.5%	351	95.4%
		3 「SGHネットワーク研究校」として、総合的な探究の時間を通して、他者と協働して課題解決を図る生徒を育成する。	学校は、総合的な探究の時間等を通して、子どもの課題発見能力や協働しながら課題解決する力を育成している。	3.3	A	132	35.9%	216	58.7%	15	4.1%	5	1.4%	348	94.6%
		4 異文化理解を深める学習活動を通して、「国際性・協調性」の育成に努める。	学校は、異文化理解を深める学習活動を通して、子どもの「国際性・協調性」を育成している。	3.4	A	177	48.1%	170	46.2%	16	4.3%	5	1.4%	347	94.3%
	保護者・地域との連携	5 学校HPの活用、校舎壁・フェンスに懸垂幕・横断幕の掲示等により情報発信に努める。	学校は、学校だより・学校HP・進路情報等により、子どもの様子を広く家庭や地域に発信している。	3.7	A	263	71.5%	98	26.6%	7	1.9%	0	0.0%	361	98.1%
		6 三者面談等を実施し、保護者との連絡を密に行う。	学校は、三者面談等を通して保護者と連携し、子どもの学校生活や進路について一緒に考えてくれている。	3.3	A	157	42.7%	175	47.6%	32	8.7%	4	1.1%	332	90.2%
授業・学習	授業改善(学力向上)	7 年間指導計画や評価方法について共有する。	学校は、各教科の年間指導計画や成績評価の方法について、子どもに説明している。	3.3	A	132	35.9%	207	56.3%	26	7.1%	3	0.8%	339	92.1%
		8 不断の授業改善により、わかる授業を実践する。	学校は、授業内容をわかりやすく工夫し、子どもの学習に関する質問や相談に丁寧に応えている。	3.1	B	101	27.4%	220	59.8%	41	11.1%	6	1.6%	321	87.2%
		9 主体的に学習に向かう態度を育成する。	学校は、朝の時間(飛躍タイム)を活用し、子どもの自学自習の力を育成している。	3.2	A	119	32.3%	216	58.7%	28	7.6%	5	1.4%	335	91.0%
		10 「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を通して、「向学心や探究心」を育てる。	学校は、グループ活動やペア活動等の授業改善を通して、子どもの向学心や探究心を育成している。	3.2	A	114	31.0%	225	61.1%	26	7.1%	3	0.8%	339	92.1%
	ICTの活用	11 タブレット端末、スマートフォンなどICT機器を活用し情報活用能力を育成する。	学校は、タブレット端末等を活用した授業で、子どもの情報活用能力を育成している。	3.5	A	194	52.7%	157	42.7%	14	3.8%	3	0.8%	351	95.4%
		12 図書資料の収集・整理・提供に努めるとともに、生徒及び職員の図書館利用を促進する。	学校図書館は、読書・学習活動等でよく利用できる体制が整っている。	3.2	A	122	33.2%	211	57.3%	31	8.4%	4	1.1%	333	90.5%
特別活動	13 学校行事等の充実	生徒会活動・HR活動の充実を図り、自主的・実践的な活動を企画・運営できる力を育成する。	学校は、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、子どもの自主的な企画力や運営力を育成している。	3.4	A	160	43.5%	193	52.4%	8	2.2%	7	1.9%	353	95.9%
	14 部活動の充実	右文尚武(学業を尊び、部活動にも励む)を身に付けた逞しく生きる主体的な人間を育成する。	学校は、適切な部活動指導等を行い、子どもは学業と部活動(特別活動)の両立ができています。	3.3	A	147	39.9%	184	50.0%	32	8.7%	5	1.4%	331	89.9%
生徒指導	15 基本的な生活習慣の確立	凡事徹底(時間厳守、あいさつ、返事、身なり、整理整頓等)が実践できる力を育成する。	学校は、凡事徹底(時間厳守、あいさつ、身なり、整理整頓等)を通して、子どもの自己管理能力を高めている。	3.3	A	129	35.1%	214	58.2%	22	6.0%	3	0.8%	343	93.2%
	16 安全教育の充実	自他の生命を尊び、安全で安心な社会づくりに貢献できる力を育成する。	学校は、日常生活や交通面、災害時の安全について、子どもの安全指導に取り組んでいる。	3.3	A	133	36.1%	211	57.3%	22	6.0%	2	0.5%	344	93.5%
人権教育	17 人権尊重教育の推進	人権ガイドブックの活用、実践的な服務研修の充実を図る。	学校は、講演会やHRを通して、子どもの人権意識の高揚を図っている。	3.4	A	155	42.1%	195	53.0%	15	4.1%	3	0.8%	350	95.1%
	18 人権教育の充実	いじめや体罰等の早期発見と解決に努める。	学校は、いじめや体罰等の人権問題の早期発見と対応体制ができています。	3.2	A	103	28.0%	226	61.4%	33	9.0%	6	1.6%	329	89.4%
進路指導	進路意識の向上	19 目的意識を持って主体的に自己の進路を選択・決定できる力を育成する。	学校は、飛躍手帳・ナビジョン等を活用を推進し、子どもの自己管理能力を育成している。	3.2	A	127	34.5%	199	54.1%	39	10.6%	3	0.8%	326	88.6%
		20 将来の職業を見据え、主体的にキャリアプランを考える力を育成する。	学校は、各種講座・対外模試等を効果的に設置し、子どもの進路意識の向上に効果を上げている。	3.4	A	182	49.5%	170	46.2%	14	3.8%	2	0.5%	352	95.7%
	21 進路相談の充実	進路相談の充実と環境整備を図る。	学校は、進路室の資料充実や学習支援ソフト(スタディサプリ)等の活用で、子どもに合った学びを提供している。	3.4	A	152	41.3%	196	53.3%	17	4.6%	3	0.8%	348	94.6%
健康・安全管理	22 健康教育の充実	健康の保持増進と自他の生命を尊重する健康教育を行う。	学校は、子どもの健康面・安全面の管理・対応をしっかりと行っている。	3.3	A	138	37.5%	210	57.1%	17	4.6%	3	0.8%	348	94.6%
	23 教育相談の充実	教職員や外部機関により、教育相談の充実を図る。	学校は、教育相談室やスクールカウンセラー等、生徒や保護者が相談しやすい体制を整えている。	3.2	A	106	28.8%	221	60.1%	36	9.8%	5	1.4%	327	88.9%
	24 教育環境の整備・安全管理	校内美化、教育環境の整備・安全管理の充実を図る。	学校は、清掃活動、学習環境の整備・安全管理が整っており、子どもの公共心を育成している。	3.3	A	140	38.0%	204	55.4%	19	5.2%	5	1.4%	344	93.5%

(第2号様式)

那覇国際第2279号
令和8年3月19日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立那覇国際高等学校
校長 仲宗根 勝
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和7年7月18日 15:25~16:25	場所	本校小会議室	出席 状況	学校評議委員4名、 管理者4名、各主任4名
第2回	日時	令和7年12月19日 15:25~16:25	場所	本校小会議室	出席 状況	学校評議委員3名、 管理者4名、各主任7名
第3回	日時	令和8年3月13日 15:25~16:25	場所	本校小会議室	出席 状況	学校評議委員2名、 管理者4名、各主任6名

2 学校評議員に求めた事項

- ①学校教育目標(学校経営グランドデザイン)の説明(第1回)
- ②各部・各学年の今年度の取組目標及び具体的方策の説明(第1回)
- ③各部・各学年の今年度取組状況(第2回)
- ④令和7年度学校評価結果説明(第3回)

3 学校評議員の意見

- ①オープンスクールの実施も含め、学校の教育活動や取り組みなどを、いろいろな方法で積極的に周知・発信していくことが大切。
- ②各種交流事業の充実や普通科を含めた全校的な国際理解教育の推進。
- ③外部機関と連携した教育活動への取り組み。
- ④本校ならではの特色を出してほしい。
- ⑤防災対策に関する取り組みの推進。
- ⑥教育活動の質の向上や生徒と向き合う時間の確保のためにも、教職員の負担軽減は重要な課題であり、働き方改革の更なる推進が必要。

4 学校運営に反映した事項

- ①学校だより、HP、Teams、スクリーン、横断幕、学校説明会、オープンスクールなどによる積極的な情報発信。
- ②海外留学生の積極的な受け入れや外部機関との連携を図り、普通科を含めた全校的な国際理解教育の取り組みを実施。
- ③外部人材を活用した生徒向け講演会や職員向けの校内研修を実施。
- ④ICT機器を活用した働き方改革に向けた更なる取り組み。
- ⑤避難訓練の見直し。
- ⑥教員業務支援員の積極的な活用。

5 課題その他

- ①教職員の働き方改革は全国的喫緊の課題であるが、本校においてもさらなる取り組み強化が必要。
- ②普通科を含めた全校的な国際理解教育の推進は、本校の特色を打ち出すことにつながるため、今後も継続して取り組む必要がある。
- ③探究活動の質の向上に向けた取り組み体制の改善。